



「いい匂い」の折り重なり

「ねえねえ！きて！」とRくん。「いい匂い！」と園庭に生えるレモンバーベナの葉を一枚くれました。レモンのような爽やかな香り。「ほんとだ！！いい匂いだね！」と答えます。「（僕が見つけたんだ！）」と言いたげな、自慢げな表情で一緒に遊んでいたYちゃんにも「はい！いい匂い！」と言ってプレゼント。嬉しい発見を分かち合うそんな姿に成長を感じました。そしてこの発見。実は初めてじゃないことを僕は知っています。Rくんがかぜ組（1歳児クラス）の頃、今回見つけた”いい匂い”の近くにあるローズマリーの葉に触れ、微かに自分の手につくハーブの香りを嗅いでいたんです。その時の写真が右下。この時は土にふれ、石を拾い、ブルーベリーの実を集め、”匂い”よりも楽しいことがたくさんありました。だけど今回は”いい匂い”自分のものだけにするのではなく、友達と分かち合う。

これまでの経験の積み重ねの中できっと、「この近くにはいい匂いの何かがある！」と言うことを知っていたようにも感じます。その時その一瞬だけじゃない。遊びの中にある経験は、その子の心の中にしっかりと折り重なっていき、しっかりと学びへと昇華されていくことを感じました。

6月 年少児保育参観 サンカク会議より抜粋
作成者：福丸直宏

